

「あそび×スポーツ」で、子どもの成長や地域活性化を促進！ 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントと協業し、 2023年開業の新球場と周辺エリアのあそび環境を開発

子どもの健やかな成長に寄与することを目的に、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーンエルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)はこの度、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント(本社:北海道札幌市、代表取締役社長:川村 浩二 以下、ファイターズ)と、「あそび・スポーツ環境」領域の戦略的パートナーシップ契約を締結し、『北海道ボールパーク F ビレッジ』(以下、F ビレッジ)の開発に参画します。子どもたちが「あそび」を通して健やかに成長する社会づくりや、スポーツを活用して多様な価値観を認め合い、地域の人々が交流を深めていくコミュニティづくりを目指します。



2023年開業の新球場『エスコンフィールド HOKKAIDO』(以下、エスコンフィールド)と、その周辺エリアを含めたFビレッジの開発において、予定している具体的な内容は以下の通りです。

1) 球場内に、当社が運営するあそび場の中で日本最大の 屋内・屋外あそび場を整備

エスコンフィールド内に屋内・屋外のあそび場を設計・開発し、運営までを当社が手がけます。床面積は1,930㎡(屋内1,050㎡、屋外880㎡)で、当社が運営するあそび場施設の中では最大となります。このスペースを乳幼児から小学校高学年まで幅広い子どもたちが安心・安全に楽しめるように、興味や発達に応じてゾーンを区分して展開します。



2) 様々なスポーツに親しむ機会を提供する、子ども用 フィールドを設立

子どもたちが野球をはじめとしたスポーツに親しむ機会を提供するため、Fビレッジ内(エスコンフィールド内「あそび場」隣接地)に約30m×約30mの子ども用フィールドを設立します。新球場のミニチュア版フィールドでスポーツを体験した子どもの中から、未来のファイターズ選手が誕生することも期待しています。



3) Fビレッジ周辺の環境を活用した、親子で楽しめる各種アクティビティを創造

Fビレッジ周辺に開発するあそび・スポーツ環境を活用し、多彩なアクティビティのプログラムも創造します。Fビレッジを起点にウォーキングやサイクリング等、子どもはもちろん大人も一緒に楽しめるプログラムを予定しています。

子どもがスポーツを好き・得意になるために重要な身体遊び体験。遊環境づくりは、地域創成にも貢献

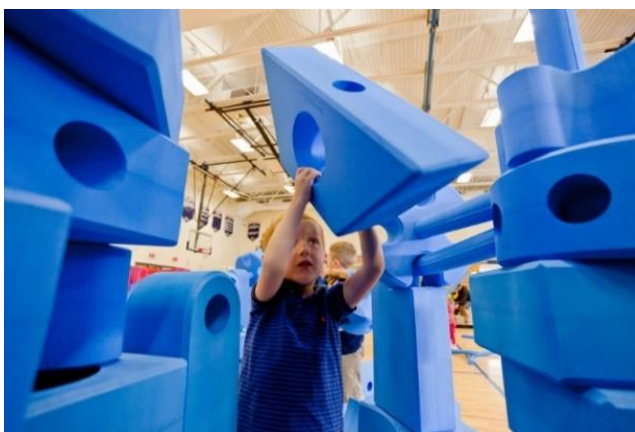
子どもが身体を動かして遊ぶことは、運動能力や想像力、協調性、自主性、社会性、クリエイティビティ、挑戦心など、あらゆる“生きる力”を育むことにつながります。また、子どもがスポーツ好き、あるいはスポーツが得意になるために、幼児期に身体遊びを楽しみ、多様な身体の使い方を身につけることが欠かせません。

2000年代に入って子どもが外で遊べる環境や機会が減少し、体力低下が社会課題となっています。こうした背景を受け、当社は屋内あそび場「キドキド」の開発・運営を全国18か所で進め、年間200万人以上の親子にご来場いただいています。「キドキド」は、あらゆる運動能力の土台となる、走る、跳ぶ、転がるなどの36の身体の基本の動きを、あそびの中で自然に体験できるよう設計したアクティブエリアと、創造あそびに集中して取り組めるエリアが一体となった施設です。さらに、常駐する「プレイリーダー」が子どもの発達や興味に合わせたあそびを提案し、あそびの発展を促します。

こうした「キドキド」の開発・運営で培ったノウハウを生かし、各地の自治体と協働してこれまで全国に50カ所以上のあそび場を開発してきました。これらの施設は子育て中の親と子に加え、幅広い世代の方々が交流するきっかけとなり、地域のコミュニケーションのハブとして、街の活性化にも寄与しています。

この度の協業でも、当社がこれまで蓄積してきた知見を活かして遊環境の創造を行い、子どもが存分に身体を動かして遊びながらスポーツに親しむとともに、子育て支援や地域のコミュニケーションのハブともなる場の開発を行います。また、Fビレッジにとどまらない地域活性化を促すサービスとして、北海道日本ハムファイターズに所属するプロ野球選手や、当社のプレイリーダー、厳選されたあそび道具を乗せたファイターズ仕様のラッピングカーを走らせ、幼稚園や小学校、公園などを巡りながらあそびを届ける事業を計画中です。球団・球場と周辺地域が、あそびとスポーツを通じてつながるきっかけづくりに貢献します。

当社は今後も、様々な企業や団体と連携しながら、身体遊びとスポーツがつながる遊環境を整備し、子どもの健やかな成長に寄与する場の創出と、地域活性化を推進してまいります。



代表コメント

● 株式会社ボーンランド 代表取締役社長 中西弘子

子どもは夢中で遊ぶうちに、心と頭と体を躍動させ、生きる力のすべてを自ら獲得します。将来にわたりスポーツに親しむためにも、子ども時代は楽しく体を動かす体験が大切です。当社はその考えから、子どもが遊びながら多様な経験ができる環境づくりを40年にわたり行ってきました。しかしながら、まだまだ日本には豊かなあそび環境が足りません。パートナーシップ締結を通じ、当社のノウハウのすべてを活かし、あそびとスポーツの環境、あそびを中心に多世代が交流できる場を創造できることを心から嬉しく思います。両社の協働により、あそびを通して、子どもを健やかに育て地域を活性化する、全国の手本にもなる取り組みができることを確信しております。

● 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント 代表取締役社長 兼 株式会社北海道日本ハムファイターズ 代表取締役社長 川村浩二

当社は北海道に根差す企業として、スポーツを通じた地域社会との交流や地域との共生・共感の下に、様々な社会貢献に取り組んで参りました。2023年以降はFビレッジを拠点に、地域社会の未来を担う「子ども」を最重要課題として、子どもの学びや成長に寄与する街づくりを推進して参ります。

この度のパートナーシップ締結を通じ、当社が目指す持続可能な街づくりがより具現化され、活動領域が進化、拡張されることと大変嬉しく思います。子どもを軸に新たな価値や世代間交流の場を提供し、地域になくてはならないコミュニティになれるよう、両社協働で取り組んで参ります。

【ボーンランドについて】

ボーンランドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため1981年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国73ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約3万5千ヶ所まで拡大しています。また、2004年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタートし、現在では全国18ヶ所、年間約200万人、さらに「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約50ヶ所、年間350万人以上の親子が訪れています。

【株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントについて】

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントは、2023年3月より北海道日本ハムファイターズの本拠地となる新球場「エスコンフィールド HOKKAIDO」を核に、周辺エリアを含めた「北海道ポールパーク F ビレッジ」全体で、持続可能な開発目標(SDGs)に貢献する街づくりを目指し、子ども、地域、パートナー連携を重視した取り組みを行います。また北海道に根ざした企業として、スポーツエンターテイメントを通じた地域社会との共生や地域発展への貢献を目指し、未来へつながる街づくりの実現と、地域経済の活性化を推進します。

【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーンランド 広報部 担当:西山、村上
TEL:03-5785-0860、080-5901-3591
e-mail:public-relations@bornelund.co.jp

【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーンランド
TEL:0120-358-518 (月~金 10:00~17:00)